

コラムのピット

CHISATO HAMANO
ARAO SATOSHI
SU-NAKA

濱野智紗都

京都府出身。物心ついた頃から夢はボートレーサー。京都東映にて時代劇を中心に子役をしていたことも。99期の養成所試験に一発合格したが、ケガで無念の途中退所。その後、ピットリポーターやインタビューアとしてボートの世界に飛び込んだ。将来の夢は小料理屋の女将になること。

ちいちゃん ピットこぼれ話



多摩川GIのウイナーインタビュー担当だった私。事前の予習であっせん表を眺めていた時に目に付いたのが横澤剛治、坪井康晴、菊地孝平（敬称略）の静岡三羽ガラス。「ん？GIで3人揃うって珍しくない？」。確信はなかったのですが、ピットで横澤選手に声を掛けてみました。「ツボちゃんと言うには10年振りらしい。もうこれ

が最後かもしれないね（笑）」。調べてみると、ちょうど10年前の丸亀GI以来でした。しかも静岡支部の選手はこの3人だけ。せっかくなのでそれぞれに同期のことを聞いてみました。

結論から言うとデビューから26年、同志というか、もはや家族。プライベートでもキャンプをしたり、飲んだり。横澤選手いわく「宿舎で3人揃うとバカばっかで酷い！口も悪くなる！」とのこと。そして3人とも口を揃えたのが「同期同期でもここまで仲が良いのは他にいないんじゃないかな？」。ただ、ピットでは話し込むようなことはない。菊地選手は「どれだけ仲が良いけども、決して馴れ合わない」というのがルールで、無二の戦友だからこそ。

「30歳くらいの頃、2人の活躍と比べられるしんどさから逃げてしまったことがあったんだ。それでもツボちゃんとキクがずっと引張ってくれている。キクなんて70



歳になってもSGを走るとか言ってるし（笑）。もう少し頑張りたい」と横澤選手。今大会終了後は東京に後泊して「50歳近いおじさんが、ホテルも3人一部屋で寝るんだよ」とハニカミながら教えてくれました。そんな仲良すぎの3ショットがこちらの写真です！「この写真、現像して3人分ちょうだい！」と喜んでくれました。まだまだ元気な三羽ガラス。次は、SGで3人が揃う日を待ち望んでいます！



オートフォーカス

AUTO FOCUS

荒尾 聡

福岡県出身。飯塚オート所属のオートレーサー。SG5勝、GI12勝を誇るオート界のスタートキング。趣味はゴルフで、すし石垣プロのキャディーを務めたこともある。特技はお酒を飲むと誰とも仲良くなれること。オートとオートソフバンクホークスをこよなく愛する。

皆さんこんにちは！ さて最近の私と言いますと、西山貴浩のパートナーでトークショーに呼ばれています(笑)。しかし、毎度毎度、西山人気はすごいですね。今回、お邪魔させていただいたのは、小倉競輪で開催された競輪祭のトークショーでしたが、もうほんとは私で人だかり！ もちろん目的は私ではなく、西山貴浩と渡邊優美ちゃん。そりゃあ1600人も選手がいる中で、オールスター2位にもなるはずだ。たかさんのファンが写真やサインをお願いしている横で、私は1人寂しくして

おりました。その夜も打ち上げと称して居酒屋に繰り出しましたが、そこでも西山人気はスゴかった！ 少しはオートレースにも興味を持ってください。

そんな中、ふと隣の席を見ると、なんと、あのレジェンドの方々が！ 元競輪選手の内林久徳さん、山口幸二さん、村上義弘さん！ 西山と2人で「やべえ！ 写真撮ってもらいたいね」と話し、意を決してお願ひに行きました。

プライベートだったので恐縮しながら写真をお願いしたのですがめっちゃくちゃ笑顔で対応していただき、写真を撮ってくださいました。この写真はもう家宝です。オラがハンパないし、めっちゃカッコ良かったです。僕もこれくらい笑顔で皆さんと一緒に写真を撮ろうって決めました。写真を撮ってもらえる機会があればの話なんですけどね。



さあ今年も残りわずか！ 年末にはオートレースのグランプリ同様、オートでもスーパースター王座決定戦という大一番が控えています。しっかり結果を残し、皆さんにいい報告ができるよう頑張ります。そして記念写真の撮影依頼、お待ちしています(笑)。

青春って1・2・3ジャンプ！

オートレース桐生が群馬クレイサンダーズのオフィシャルパートナーになっていて関係で、年に1回、選手がドラキリユウナイトにゲストで来てくれます。「いつかみんなで応援に行きたいね」って言うたら、バスケットのななせ結衣ちゃんが全員分のチケットを用意してくれて、千葉ジェッツVS群馬クレイサンダーズの試合に行ってきました！

すーなか

大阪府出身。吉本興業で2001年デビュー。芸歴22年目のお笑い芸人。芸人界きってのオートレース通。戸田、桐生を中心に数々のオートレース番組に出演中。

すーなが

今月も どうも すいません



迫力がスゴく、試合前からドキドキ。初めて野球場に行った時のあの感じ！ 試合が始まると歓声のスゴさにビックリしました。しかしここで問題が一つ。僕は選手の名前はもちろん、ルールすら曖昧。周りに合わせて手拍子をするのが、正直、何が起きたか分かってない。そこに救世主が登場！ 僕の隣に座っていたななせちゃんのバスケット友達の男性だ。初めましてなのに勇気を出して質問すると、あの選手はどこどこ高校出身で、世代ナンバーワン、あの選手はスラムダンク奨学金をもらってる18歳で今後大注目、あの選手はこういう理由で移籍してきました、今のファールはこれが理由です、など逐一説明してくれました！ お陰で帰る頃には「藤井選手スゴかったな」とまるで前から知ってみたいいなことを言えるようになってました。

何事も初めての時は親切なおタクと行くのが一番！ オートレースもそう。僕も初心者に教える時は、丁寧に教えて好きになって帰ってもらえるようにしようと心に誓った一日でした。